

<間脳下垂体外科>

G10 (general instructional objective)

下垂体腫瘍を代表とする間脳下垂体疾患の病態を理解すると同時に、内分泌的な事項、病理学的な事項を理解し、かつ治療としての外科的適応、手術手技を理解する事を基本的な目標とする。

SBOs (specific behavioral objectives)

(1) 基本姿勢

- ・病態の把握ができる病歴聴取を心がける。病態の理解を深める。

(2) 診察法・検査・手技

- ・内分泌代謝疾患の病態を評価するための検査計画が行える。
- ・手術を施行するための検査計画が立てられる。

(3) 症状・病態への対応

- ・行った検査の評価ができる。
- ・下垂体腫瘍を始めとする間脳下垂体疾患に対して画像検査、内分泌所見等基本的な評価と対処ができる。

LS1 (learning strategy 1) On the job training

- (1) 上級医の指導のもとで入院患者の診療を行う。受け持ち患者数は 5・10 人程度とする。
- (2) 週 2 回の部長回診に参加し、症例提示を行う。
- (3) 上級医の指導により、術前後の処置が実施できる。

LS2 (learning strategy 2) 勉強会・カンファランス・学会など

- (1) 手術治療を必要とする症例について術前カンファランスで提示を行う。
- (2) 上級医の指導により開催される勉強会に出席する。(平均週一回程度)
- (3) 興味を持った症例や病態に関して、上級医の指導のもとに自己学習した成果を勉強会あるいは関連する学術集会等で発表する。

週間予定

	午前	午後	夜間	
月曜日	術前カンファランス、手術	手術	回診	
火曜日	手術	手術	病棟	
水曜日	病棟（手術）	手術	内分泌合同カンファランス	
木曜日	病棟	病棟	勉強会	最終週のみ 研修医発表会
金曜日	手術	手術	回診	

EV 評価

EPOC による評価方法（研修医 指導医）

研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、EPOC 評価システムに入力すること